

今月のメッセージ (2011年12月)

日本銀行富山事務所長
佐子 裕厚

10月末日に「富山事務所長を命ず」との辞令を受けました。発令後、早速、旅行用のガイドブックを買い集めて、美味しいものや見所について勉強(?)しています。立山連峰、黒部峡谷、蜃気楼に合掌造り。寒ブリにズワイガニに白エビにほたるいか。お米も野菜もお酒も鱈の寿司も美味しいようです。私の大好きな温泉にも恵まれた土地のようで、歴史と伝統に培われたこの街で仕事ができるのを楽しみにしています。

事務所の仕事は、地域の皆さまのお役に立つことです。具体的には、皆さまのご意見やご要望をお聞きしながら、金融政策や経済の動きをお伝えすること、金融知識の啓蒙や教育活動を進めていくこと、寄託券の管理をしていくこと、を柱としています。

勿論、こうした活動は、私ども事務所員のみで出来るものではありません。地域の皆さまにご協力・ご支援いただいているものばかりです。私も、富山中を走りまわって、皆さまのお役に立てるよう力を尽くしていきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

事務所の歴史を少し紐解きますと、開設は終戦間際の昭和20年8月1日。日銀の12ある国内事務所の3番目として開設されました。不幸にも、翌8月2日には富山の空襲で被災。皆さんと一緒に復興活動に従事することが事務所の初仕事だった。そういう事務所です。私もこうした事務所の歴史をしっかりと受け継いでいきたいと思っています。

単身赴任生活を送っていますが、先日、妻と小4の娘が引越しの手伝いに来てくれました。娘は、富山の和菓子がすっかりお気に入りになったようで、「パパ、私、富山を大好きになった」と言い残して東京に帰っていきました(本当は、「富山」でなく「お菓子」が好きになったのかもしれませんが・・・)。

私も富山を好きになっていますが、今度は、富山が私を好きになって下さるよう、仕事に専念していきたいと思えます。気軽にお声をお掛けください。